

令和7年神奈川県  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

保 育 原 理

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) … 

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、「児童の権利に関する条約」に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「児童の権利に関する条約」は1989年に国連総会において採択され、1990年の発効に伴い、同年日本も批准した。
- B すべての児童はいかなる理由でも差別されず条約に定めるすべての権利が保障されるという差別の禁止は、「児童の権利に関する条約」の基本的な考え方の一つである。
- C 「児童の権利に関する条約」において、児童が遊ぶことを児童の権利として認めている。
- D 「児童の権利に関する条約」の基本的な考え方は、「児童福祉法」に取り入れられているため、「こども基本法」には取り入れられていない。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問2 次の文は「児童福祉法」第2条の一部である。( A ) ~ ( D ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

全て国民は、児童が良好な ( A ) において生まれ、かつ、( B ) のあらゆる分野において、児童の年齢及び ( C ) の程度に応じて、その意見が尊重され、その ( D ) が優先して考慮され、心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。

(組み合わせ)

- |   | A  | B  | C    | D     |
|---|----|----|------|-------|
| 1 | 環境 | 学習 | 発達   | 最善の利益 |
| 2 | 家庭 | 学習 | 言語能力 | 特性    |
| 3 | 家庭 | 社会 | 言語能力 | 最善の利益 |
| 4 | 環境 | 学習 | 発達   | 特性    |
| 5 | 環境 | 社会 | 発達   | 最善の利益 |

問3 次の文のうち、「保育所保育指針」第1章「総則」1「保育所保育に関する基本原則」(1)「保育所の役割」に照らし、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 子どもが様々な人と出会い、関わり、心を通わせる経験を重ねることができるようにすることが重要である。
- B 保育所は、地域の様々な人・場・機関などと連携を図りながら、地域に開かれた保育所として、地域の子育て力の向上に貢献していくことが求められている。
- C 地域の子育て家庭に対する支援については、こども基本法において保育所の努力義務として規定されている。
- D 子育て家庭が孤立しがちとなっている状況がある中で、安心・安全で、親子を温かく受け入れてくれる施設として、保育所の役割はますます期待されている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問4 次の文のうち、「児童福祉法」第6条の3の一部として、(a)～(d)の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

この法律で、(a) 家庭的保育事業とは、次に掲げる事業をいう。

- 1 子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）第19条第2号の内閣府令で定める事由により家庭において必要な保育を受けることが困難である乳児又は幼児（以下「保育を必要とする乳児・幼児」という。）であつて(b) 満3歳未満のものについて、家庭的保育者（市町村長が行う研修を修了した保育士その他の内閣府令で定める者であつて、当該保育を必要とする乳児・幼児の保育を行う者として市町村長が適当と認めるものをいう。以下同じ。）の(c) 居住する地域の公共施設その他の場所（当該保育を必要とする乳児・幼児の居宅を除く。）において、家庭的保育者による保育を行う事業（利用定員が(d) 19人以下であるものに限る。次号において同じ。）

(組み合わせ)

	a	b	c	d
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	○	○	○
5	×	×	×	○

問5 次の【Ⅰ群】の記述と【Ⅱ群】の法令・省令を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 国及び地方公共団体は、児童の保護者とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う。
- B 保育所における保育は、養護及び教育を一体的に行うことをその特性とし、その内容については、内閣総理大臣が定める指針に従う。
- C すべて国民は、個人として尊重される。(略)
- D 子どものための教育・保育給付は、施設型給付費、特例施設型給付費、地域型保育給付費及び特例地域型保育給付費の支給とする。

【Ⅱ群】

- ア 「児童福祉法」
- イ 「子ども・子育て支援法」
- ウ 「こども基本法」
- エ 「日本国憲法」
- オ 「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（昭和23年厚生省令第63号）」

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | オ | ウ | イ |
| 2 | ア | オ | エ | イ |
| 3 | イ | ウ | ア | オ |
| 4 | オ | ア | エ | ウ |
| 5 | オ | イ | エ | ウ |

問6 次の文は、平成27年4月に施行した子ども・子育て支援新制度に関する記述である。  
適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 子ども・子育て支援新制度の施行後から現在（令和7年3月時点）まで、保育所、認定こども園などの職員配置基準は変わっていない。
- 2 市町村は地域の子育て家庭の状況を把握し、5年間を計画期間とする「市町村子ども・子育て支援事業計画」を定める必要がある。
- 3 子ども・子育て支援新制度は、保育所に入所する子どもの保護者に対する子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていくことを目的としている。
- 4 「子ども・子育て支援法」では、教育・保育を利用する子どもについて4つの認定区分が設けられ、これに従って施設型給付等が行われる。
- 5 「子ども・子育て支援法」において、施設型保育とは、家庭的保育、小規模保育、居宅訪問型保育及び事業所内保育をいう。

問7 次の文は、3歳未満児の指導計画に関する記述である。「保育所保育指針」第1章「総則」3「保育の計画及び評価」に照らし、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 集団保育であるため個別の指導計画は作成しないが、3歳未満児は特に心身の発育・発達が顕著な時期であると同時に、その個人差も大きいいため、少人数のグループごとに保育が展開できるようにすることが重要である。
- B なるべく多くの保育士等が子どもと積極的に関わりをもち、情緒的な絆を深められるよう指導計画を作成する。
- C 一日の生活全体の連続性を踏まえて家庭との連携を指導計画に盛り込んでいくことが求められる。
- D 指導計画は、月ごとに個別の計画を立てることを基本としつつ、子どもの状況や季節の変化などにより、ある程度見通しに幅をもたせ、子どもの実態に即した保育を心がける。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問8 次の文を「児童福祉法」第6条の2の2の一部の記述として完成させる場合、  
( A ) ~ ( C ) の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい  
組み合わせを一つ選びなさい。

この法律で、保育所等訪問支援とは、保育所その他の児童が（A 集団生活）を営む施設として内閣府令で定めるものに通う障害児又は乳児院その他の児童が集団生活を営む施設として内閣府令で定めるものに入所する障害児につき、当該施設を（B 訪問）し、当該施設における障害児以外の児童との（C 積極的な関係構築）のための専門的な支援その他の便宜を供与することをいう。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | × |

問9 次の文は、障害のある子どもの保育に関する記述である。「保育所保育指針」第1章「総則」3「保育の計画及び評価」(2)「指導計画の作成」に照らし、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 子どもの保護者や家庭との連携にあたっては、子どもの得意なことではなく、困難な状況に限って、保育所と家庭での生活の状況を伝え合うことに留意する必要がある。
- B 障害のある子どもが混乱しないよう、保育所と児童発達支援センター等の関係機関とが話し合う機会をもち、子どもへの理解を深め、保育の取組を同一にする必要がある。
- C 障害のある子どもの保育については、障害のある子どもが他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう、指導計画の中に位置付けることが必要である。
- D 個別の指導計画を作成する際には、日常の様子を踏まえて、障害のある子どもにとって課題となっていることが生じやすい場面や状況、その理由などを分析する必要がある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	×	○	○	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問10 次の文は、諸外国の保育に貢献をした人物に関する記述である。( A ) ～ ( D ) にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ スウェーデンの社会批評家・女性解放論者である ( A ) は、著書『児童の世紀』(1900年)の中で、「20世紀は子どもの世紀である」と宣言した。
- ・ アメリカの哲学者・教育学者である ( B ) は、1896年にシカゴ大学附属の「実験学校」を設置した。子どもを学習の主体ととらえ、主体と環境の相互作用を経験と呼び、経験の再構成の連続的過程を教育の本質とした。著書に『学校と社会』、『民主主義と教育』等がある。
- ・ 1910年代のイギリスで、( C ) は、「戸外保育学校」(Open-air Nursery school)を創設した。そこでは、保健・給食・午睡・戸外遊び・生活指導などを重視して、午前8時から午後5時半まで保育し、後の「保育学校」普及の基礎となった。
- ・ イタリアで最初の女性医学博士である ( D ) は、知的障害児の治療・教育の研究・実践を行い、その教育方法を健常児にも適用した。ローマのスラム街サン・ロレンツォの「子どもの家」で彼女が開発した教育遊具である「感覚教具」や家事仕事である「実生活の訓練」などを通して教育実践を行った。

【語群】

ア モンテッソーリ (Montessori, M.)	イ フレーベル (Fröbel, F.W.)
ウ オーエン (Owen, R.)	エ デューイ (Dewey, J.)
オ マクミラン (McMillan) 姉妹	カ ヘファナン (Heffernan, H.)
キ ハウ (Howe, A.L.)	ク エレン・ケイ (Ellen K.S. Key)

(組み合わせ)

- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
|   | A | B | C | D |
| 1 | キ | エ | ウ | ア |
| 2 | キ | エ | オ | ア |
| 3 | キ | カ | ウ | イ |
| 4 | ク | エ | オ | ア |
| 5 | ク | カ | オ | イ |

問11 次の文は、日本の保育の歴史に関する記述である。( A ) ~ ( C ) にあてはまる人物の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ( A ) は、1871 (明治4) 年、アメリカ人のキリスト教婦人宣教師メリー・プライン (Pruyn, M.)、ジュリア・クロスビー (Crosby, J.)、ルイス・ピアソン (Pierson, L.) によって横浜に創られた施設である。横浜開港にあたり、外国人と日本人との間に生まれた子どもと日本人の女子に対するキリスト教主義の教育と保護を目的としたものである。
- 橋詰良一は、1922 (大正11) 年、大阪市郊外の池田に ( B ) を開設した。ここでは、大自然の中で子どもたちを自由に遊ばせるために、自動車で子どもたちを連れ出し露天保育を行った。
- 江戸時代後期の農政学者である佐藤信淵は、1848 年、『垂統秘録』において、乳幼児を保育する「( C )」と、それ以上の年齢の子どもを保育する「遊児廠」の施設保育を構想した。

(組み合わせ)

	A	B	C
1	キリスト教婦人矯風会	家なき幼稚園	幼稚小学
2	キリスト教婦人矯風会	愛珠幼稚園	慈育館
3	亞米利加婦人教授所	家なき幼稚園	幼稚小学
4	亞米利加婦人教授所	愛珠幼稚園	幼稚小学
5	亞米利加婦人教授所	家なき幼稚園	慈育館

問12 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

S 保育所の5歳児クラスで保育実習を行ったQさんは、クラスに複数の外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭の子どもたちがいることを知り、保護者が家庭や子育てに対しての心配や不安を抱えていると、子どもの園での生活にも影響があることを学んだ。そこでQさんは、将来の保育士として、外国籍家庭など、特別な配慮を必要とする家庭に対する対応の仕方や具体的な支援の方法について考え、その内容を整理した。

【設問】

実習生Qさんが整理した保護者への支援の内容として、「保育所保育指針」第4章「子育て支援」2「保育所を利用している保護者に対する子育て支援」に照らし、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保護者との日本語によるコミュニケーションがとりにくい場合は、絵やイラストなど多様な方法を用いて、保育所での子どもの生活の様子を伝える。
- B 保護者が子どもの園生活に心配や不安を感じていると気づいた時は、送迎時などに丁寧に関わり、家庭の状況や問題を把握する。
- C それぞれの保護者が抱えている家庭等の不安や問題は共通しているので、できる限り多くのクラスの保護者へその内容を伝える。
- D 保護者の意向や思いを理解した上で、必要に応じて市区町村等の関係機関等と連携し、地域の社会資源を活用しながら、個別の支援をする。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	×	×

問13 次の文は、「保育所保育指針」第1章「総則」1「保育所保育に関する基本原則」

(1)「保育所の役割」の一部である。(A)～(D)にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

保育所は、児童福祉法(昭和22年法律第164号)第(A)条の規定に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、その(B)心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設であり、入所する子どもの最善の利益を考慮し、その(C)を積極的に増進することに最もふさわしい(D)の場でなければならない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	42	健康な	福祉	生活
2	42	健全な	意欲	遊び
3	39	健康な	能力	体験
4	39	健全な	福祉	生活
5	39	健康な	意欲	体験

問14 次の文のうち、「保育所保育指針」第1章「総則」2「養護に関する基本的事項」

(2)「養護に関わるねらい及び内容」の「情緒の安定」の記述として、正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 一人一人の子どもが、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。
- B 一人一人の子どもがくつろいで共に過ごし、心身の疲れが癒されるようにする。
- C 一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。
- D 一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。

(組み合わせ)

1	A	B
2	A	C
3	A	D
4	B	C
5	C	D

問15 次の文は、保育所における保育の目標に関する記述である。「保育所保育指針」第1章「総則」1「保育所保育に関する基本原則」(2)「保育の目標」に照らし、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 十分に教育の行き届いた管理体制の下に、子どもとしてあるべき姿に成長・発達できるよう厳密な指導を行うこと。
- B 健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと。
- C 人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。
- D 保育士等は、入所する子どもの保護者に対し、園の意向に沿ったふさわしい行動をとるよう常に指導すること。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	×	○

問16 次の文は、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」2「1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容」の一部である。1歳以上3歳未満児の「環境」に関する記述として、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育士等からの話や、生活や遊びの中での出来事を通して、イメージを豊かにする。
- B 玩具、絵本、遊具などに興味をもち、それらを使った遊びを楽しむ。
- C 様々な食品や調理形態に慣れ、ゆったりとした雰囲気の中で食事や間食を楽しむ。
- D 身の回りの物に触れる中で、形、色、大きさ、量などの物の性質や仕組みに気付く。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問17 次の文は、保育所における保育の方法に関する記述である。「保育所保育指針」第1章「総則」1「保育所保育に関する基本原則」(3)「保育の方法」に照らし、正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 子どもの発達について理解し、一人一人の発達過程に応じて保育すること。その際、子どもの個人差に十分配慮すること。
- B 子ども相互の関係づくりや互いに尊重する心を大切にし、集団における活動を効果あるものにするよう援助すること。
- C 子どもが自発的・意欲的に関われるような環境を構成し、子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切にすること。特に、乳幼児期にふさわしい体験が得られるように、学習を中心に据えて、系統的に保育すること。
- D 一人一人の子どもの状況や家庭及び地域社会での生活の実態を把握すること。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	×

問18 次の保育所の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

S保育所の0歳児クラスを担当していたT保育士が、特別な事情のため、年度途中でやむなく退職することになった。子どもや保護者が不安を抱かないように、S保育所では、今後の対応を検討するための話し合いを行った。

【設問】

次のうち、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」1「乳児保育に関わるねらい及び内容」に照らし、乳児を担当する保育士が替わる場合の配慮として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 一人一人の子どもの好きな遊びや玩具、絵本などについての情報を、担当者間で引き継ぐ。
- B 0歳児は、新しい環境に慣れるのが早く、保育の急激な変化にも順応できるため、親子ともに新しい担当保育士のやり方に従うよう、園長から保護者に伝える。
- C 保育所内の職員が協力して、子どもにとって心地よいと感じる環境を考え、準備する。
- D 生育歴や発達過程等における子どもの個人差などの情報を、担当者間で引き継ぐ。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	×	○	×	○
4	×	×	○	○
5	×	×	×	×

問19 次の文は、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」1「乳児保育に関わるねらい及び内容」の一部である。( A )～( D )にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

玩具などは、音質、形、色、大きさなど子どもの( A )に応じて適切なものを選び、その時々の子どもの興味や関心を踏まえるなど、遊びを通して( B )の発達が促されるものとなるように工夫すること。なお、安全な環境の下で、子どもが( C )を満たして自由に遊べるよう、身の回りのものについては、常に十分な( D )を行うこと。

【語群】

ア	個性	イ	発達状態	ウ	感覚	エ	主体性
オ	探索意欲	カ	点検	キ	管理		

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | オ | キ |
| 2 | ア | オ | エ | キ |
| 3 | イ | ア | ウ | カ |
| 4 | イ | ウ | オ | カ |
| 5 | オ | エ | ウ | キ |

問20 次の文は、「児童福祉法」第48条の4の一部である。( A )～( D )にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

保育所に勤務する保育士は、乳児、幼児等の( A )に関する( B )に応じ、及び( C )を行うために必要な知識及び技能の修得、( D )及び向上に努めなければならない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	福祉	要望	支援	維持
2	保育	相談	助言	維持
3	生活	要望	支援	学修
4	保育	要望	助言	学修
5	生活	相談	支援	維持